

建設産業委員会所管分

個別施策名	立地促進のための支援
問題提起	①企業立地に関するホームページに魅力が全くない。 ②企業立地の土地がないため、企業の市外流出が予想される。
市長からの回答	①各課が企業立地に関する施策を実施しているため、その内容を市ホームページに追加掲載します。 ②場所の不足に対し、早急に工業団地の完成を目指します。また交通渋滞対策などインフラ整備を行い、企業の円滑な事業運営をサポートします。

個別施策名	まちなか居住の推進
問題提起	①まち中居住推進に関するビジョンがない。 ②JR半田駅前と知多半田駅前以外の鉄道駅周辺でのまち中居住の議論が全く進んでいない。
市長からの回答	①都市計画マスタープランの改定において、まち中居住の方針について検討するとともに、パブリックコメントによる市民意見を反映することで、理解を得たいと考えています。 ②都市計画マスタープランの地域別構想の策定段階において、地域住民を対象にワークショップを行う予定であり、その中で議論をしていきます。

個別施策名	（景観に対する意識向上の）啓発活動の推進
問題提起	①景観形成重点地区とは何か理解されていないし、なぜ景観形成重点地区に指定されているかの理由も理解が得られていない。 ②景観について市民に理解を得ると言う観点で欠落している。
市長からの回答	①これまでのようにチラシを配布したり、イベントと連携して、景観形成重点地区に指定されていることの周知に努めます。 ②景観補助の活用についてのPR動画を平成28年度に作成し、チラシなどに動画へ誘導するQRコードを添付して岩滑地区へ一度、亀崎地区へ一度チラシを配布しました。引き続きチラシの配布で啓発に努めます。



建設産業委員会活動報告(要旨)
調査テーマ
「都市計画マスタープランから見た景観を活かしたまちづくりと地域活性化について」
半田市における景観を生かしたまちづくりでは平成22年策定の景観計画と連動しながら景観形成に寄与する建築物等への助成を行う景観形成重点地区整備

事業と、ふるさと景観づくり推進事業などを実施しています。

しかし、例えば岩滑地区では彼岸花の風景は素晴らしいのですが新美南吉記念館から南吉の生家までを歩くと建築物によるまち並みの形成は進んでいません。一方で半田運河周辺地区ではまち並みが形成されつつある中、キッコウトミに代表される蔵の風景など今後の展開に重要な建築物が補助金を活用した保存修繕ではなく解体が進む現状があります。

以上のように、地区ごとにそれぞれ固有の問題を抱えています。そこで、当委員会は

先進事例として半田市と同様の「歴史・文化・伝統を活かしたまちづくり」を掲げ、日本のみならず世界中から多くの観光客が訪れている石川県金沢市を視察調査しました。

その結果として、次の3点を提言します。
1、景観形成重点地区

の市民の皆さんに、景観形成とは何かをご理解いただいたうえで、自分たちのまちの景観を生かしたまちづくりをどうしていきたいかご意向を伺うこと。その際は金沢市の都市計画マスタープランの改定時の様に、先ずは市民のご意見を伺うという形で、前回の都市計画マスタープランを叩き台として各地区を回り、市民の新たな考えをマスタープランへ盛り込むなどの方法を参考にすること。

2、景観を生かしたまちづくりをするとの意向が確認できたのならば、どのようなゴールを目指すのか、予想図と時期を景観形成重点地区の市民が主体的に作り上げることを市はサポートすること。同時に、金沢市のごまちなみ保存区域に指定されている大野まちなみ委員会を参考に、3つの景観形成重点地区に、研究会・保存会など市民主体の組織を立ち上

げていただくこと。
3、市は景観形成重点地区については以下4事項を実行すること。
①金沢町家のように、残すべき古民家の選定と保存のルール作りを行うこと。
②古民家を改修する助成金の使いやすい制度への見直しを行うこと。
③古民家の改修を進める仕組み作りの仲介役となる専門家の派遣や情報バンクを設置すること。
④景観を大切にする啓発活動と人材育成。

